

# 平成30年度 学校経営方針

稲沢市立稲沢東小学校



## 1 教育目標

- 丈夫で精出せ
  - ・ 心身ともに たくましい子
  - ・ つらさに耐えて ねばり強くやりとげる子
- 明るく
  - ・ 心豊かで 思いやりのある子
  - ・ 礼儀正しく 素直にあいさつできる子
- 正しく
  - ・ 深く考え 自ら進んで学習できる子
  - ・ きまりを守り 人と協力できる子



## 2 経営方針

- ◎ 児童、教師（学校）、保護者、地域が、共に認め合い、高め合い、響き合う教育活動を展開し、保護者や地域から信頼される学校づくりを進める。
- (1) 学級経営が学校の基盤であり、児童理解に基づく学級づくり・授業づくりに努める。
  - 児童一人一人の持ち味を理解し、可能性を最大限に伸ばしていく。
  - 道徳や特別活動等を通して、命の大切さを自覚させる。
- (2) 教職員一人一人が職責の重大さを自覚し、多方面から研鑽を積む。
  - 豊かな教材解釈・教材開発に努め、魅力ある授業を展開していく。
  - ICTを積極的に活用し、「自調自考」の学習姿勢を育てていく。
- (3) 学校・家庭・地域がそれぞれの役割を自覚し、その機能を最大限に発揮できるように努める。
  - 地域人材を活用し、多様な学習活動や体験活動を通して、豊かな人間性を育む。



## 3 本年度の重点努力目標

- (1) 児童が自ら学ぶ意欲を高め、安心して自分の力を発揮するとともに、互いのよさを認め合い、協働的・共感的に学び合う集団づくりに努める。
- (2) 道徳教育の充実を図り、かけがえのない命を大切にし、人を思いやる豊かな心の育成に努める。
- (3) 外国語活動担当専任講師とALTの有効活用を企図し、児童の異文化に対する興味・関心と外国語によるコミュニケーションへの意欲を高める。
- (4) 児童の創造性豊かな気付きを引き出し、思考力・判断力・表現力を育てていくとともに、感性・情緒の基盤である言語能力を高めるため、読み聞かせや読書指導等を推進し、読書に親しむ機会をつくる。
- (5) 様々な危機から身を守るため、一人一人の危機意識を醸成し、安全教育、防災・減災教育を徹底していく。
- (6) 食育や体育的行事を通して、ねばり強くたくましい心と体をもち、自ら進んで健康の保持・増進に励む児童の育成に努める。
- (7) セーフティ・プラスワン事業の活用を図り、一斉下校による下校時の安全確保に努めるとともに、児童の豊かな学習活動を展開していく。
- (8) 県教委及び市教委が策定した「教員の多忙化解消プラン」を踏まえ、業務のあり方や進め方等の改善を検討し、多忙感の解消及び健康障害防止、在校時間の縮減等を図り、教職員のワークライフバランスの構築に努める。